

## 日本のまんなか意識調査 スポーツ意欲に関するアンケート 調査結果

株式会社中広(本社:岐阜県岐阜市 代表取締役社長:後藤一俊)が運営するフリモリサーチでは、この度、岐阜県・三重県・愛知県・滋賀県・福井県・鳥取県のフリモ会員を対象に「スポーツ」についてアンケートを実施し、調査結果をまとめております。

本調査の目的は、当社の持つネットワーク(モバイル会員)を活用し、日本の「まんなか(中部圏)」に暮らしている方の消費動向を把握することです。

今回は体育の日にちなみスポーツに対する意欲や興味などについて調査を行いました。

### <調査結果ハイライト>

- ・月1回以上運動・スポーツをする 54%
- ・スポーツジムに通いたい 32%
- ・スポーツ系スクールに通いたい 29%
- ・今行っている・興味があるスポーツ
  - 女性 第1位 ヨガ・加圧 37%
  - 第2位 ジム・フィットネス 24%
  - 第3位 水泳 19%
  - 男性 第1位 野球 23%
  - 第2位 ゴルフ 21%
  - 第3位 ランニング 19%
- ・子どもが習っている・習わせたいスポーツ 第1位 水泳 34%

月1回以上月1回以上運動・スポーツをする人は半数を上回ります。

ジムやスポーツ系スクールの利用者は1割程度でしたが、「通いたい」人は約3割です。

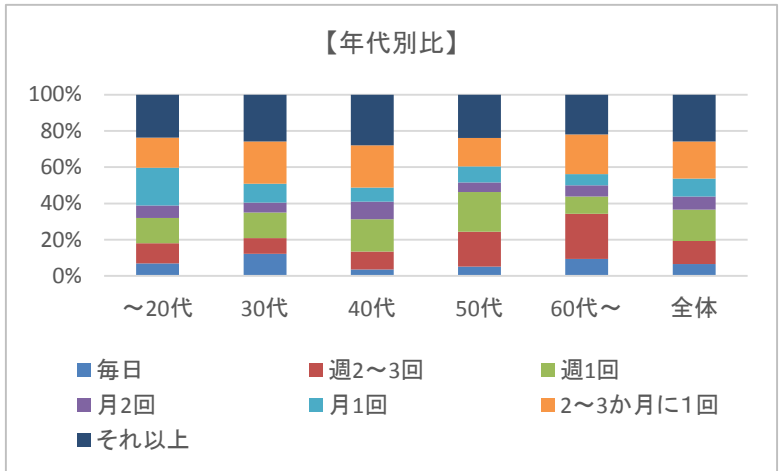
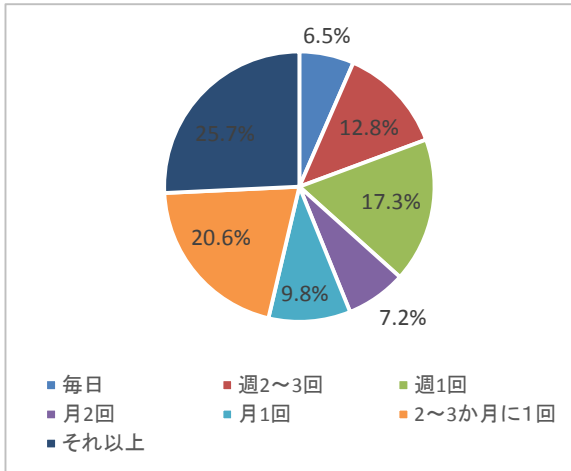
また、子どものスポーツ系習い事には親は自分自身よりも高い予算をかける傾向がみられます。

【本調査に関するお問合せ先】

株式会社 中広 開発本部 クリエイティブ部 企画課 CMR担当

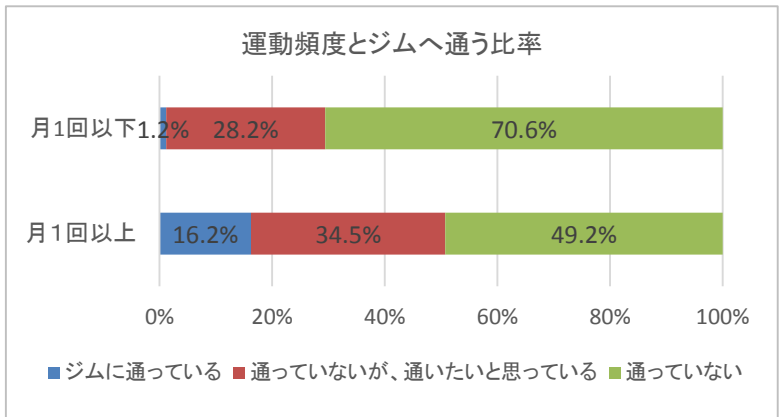
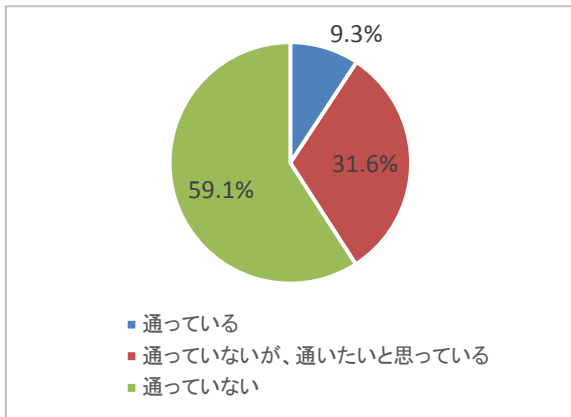
TEL: 058-214-3325 E-mail: info@furimo.jp

# Q1 どれぐらいの頻度で運動・スポーツをしていますか？

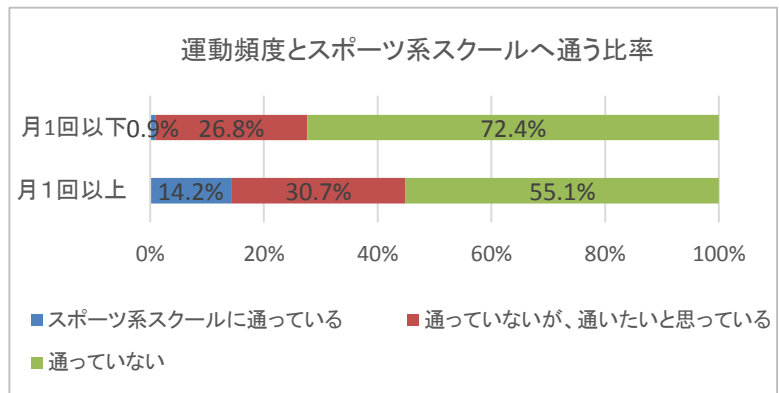
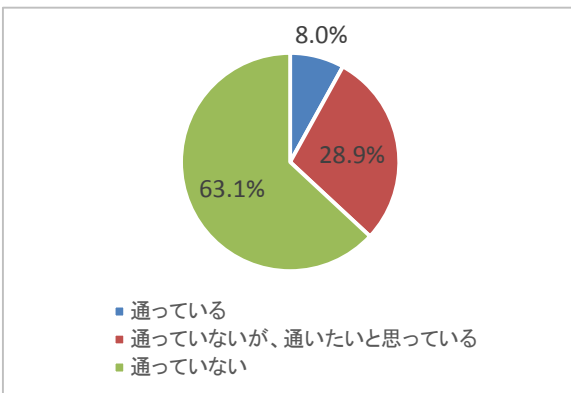


「月1回以上運動する」と回答した人が半数以上となりました。全体的に年齢が上がるとともに運動頻度が上がる傾向があります。年齢の上昇とともに健康志向が強まるのではないのでしょうか。毎日運動する人の割合は30代が一番多い結果となりました。

# Q2 スポーツジムに通っている・通いたいですか？

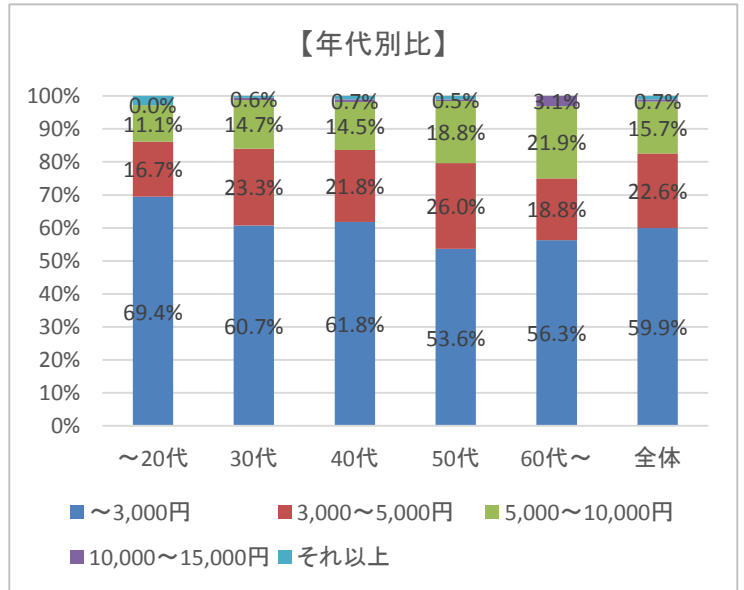
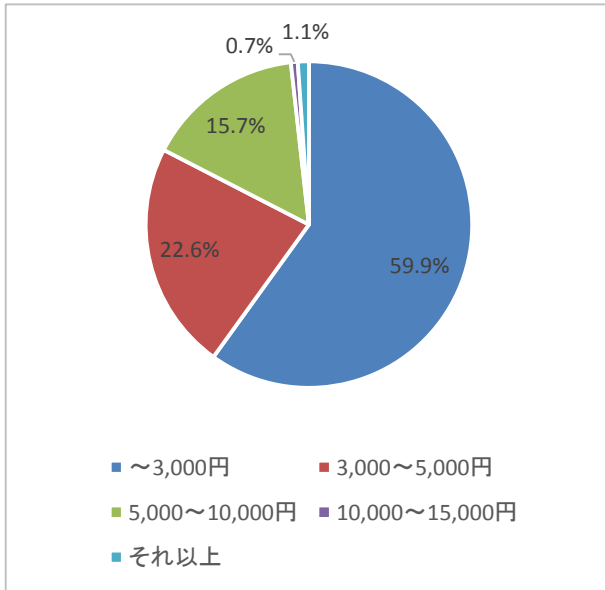


# Q3 スポーツ系スクール・教室に通っている・通いたいですか？



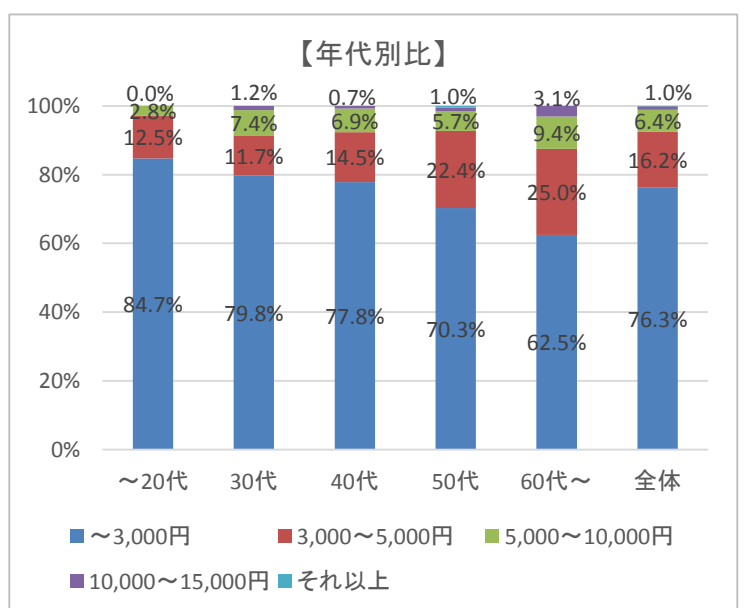
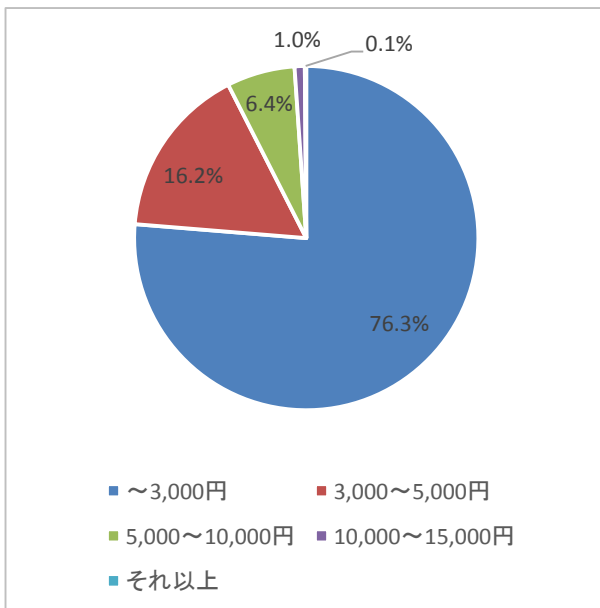
ジムとスポーツ系スクールに通う比率はほぼ同じで1割以下です。ただし、約3割が「通っていないが、通いたい」と思っています。運動頻度との関連性に注目すると、当然ながらジム・スポーツ系スクールに通う人は運動頻度が高いです。

## Q4 ジム・スポーツ系スクールなどにかかる1か月間の予算は？



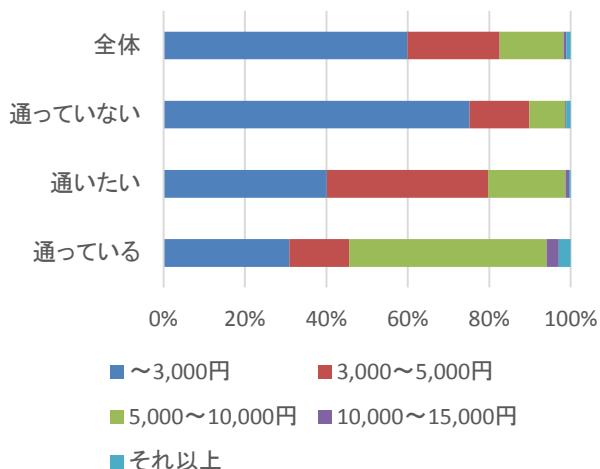
3,000円以下との回答が約6割となり、10,000円以内の回答が98%と大部分を占めます。年代が上がるにつれ予算が上がるようです。

## Q5 スポーツウェアやグッズなどにかかる1か月の平均予算は？

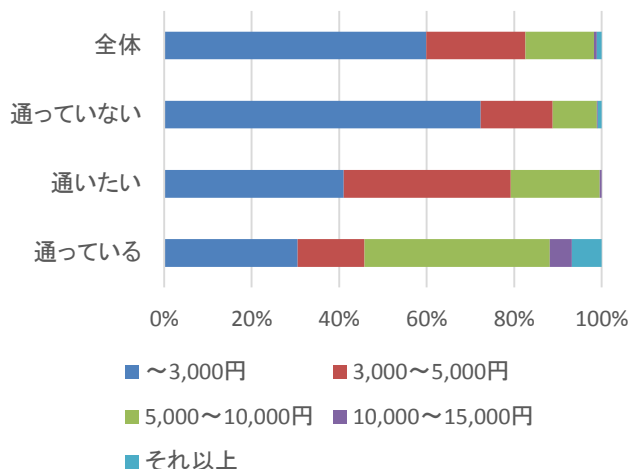


75%以上が3,000円以下と回答しました。スポーツウェア・グッズに関しても年代が上がるにつれ予算が高まるようです。

### ジム利用と予算

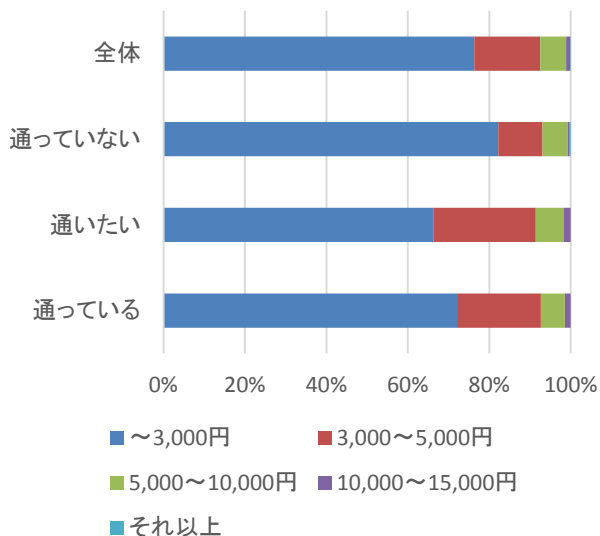


### スクール利用と予算

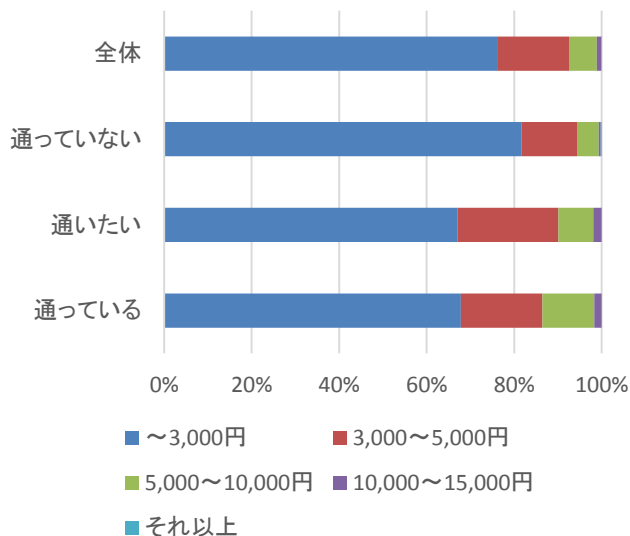


ジム・スクール利用者はスポーツにかかる予算が「5,000～10,000円」が最も多く4割を上回ります。一方、ジム・スクールに通いたい人は、「3,000～5,000円」が約4割となりました。

### ジム利用とスポーツグッズの予算

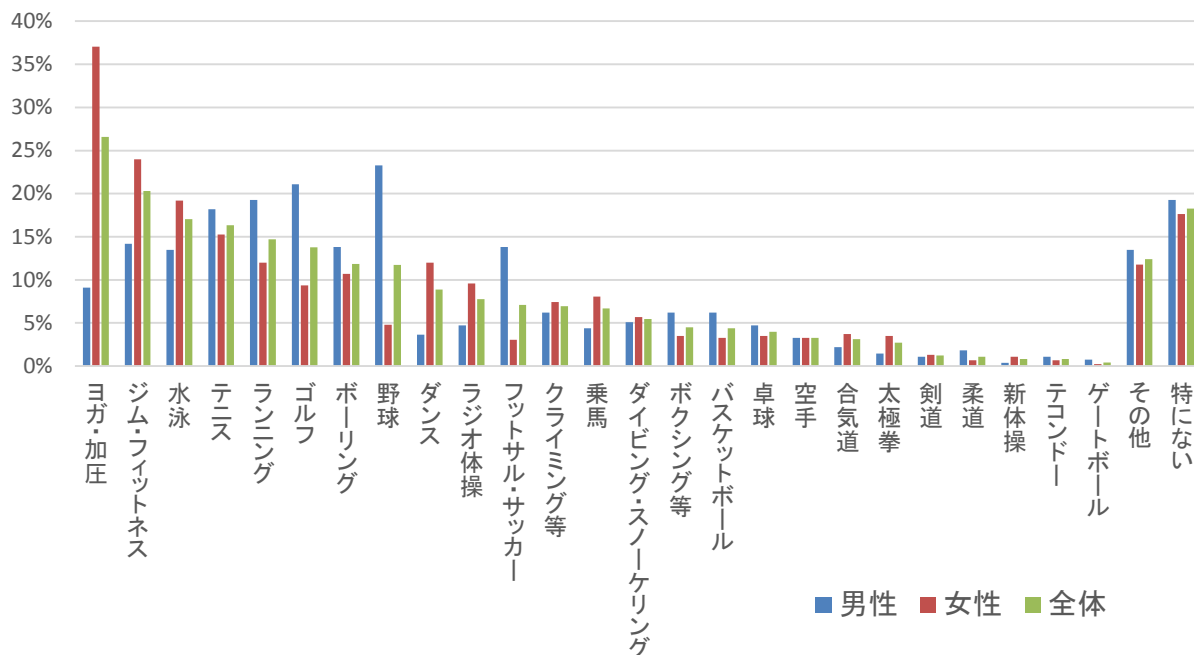


### スクール利用とスポーツグッズの予算



ジム利用の有無では、スポーツウェア・グッズの予算に大きな差はみられませんでした。一方、スポーツ系スクール利用者は、スポーツウェア・グッズの予算を5,000円以上とする回答が相対的に高く、他者と一緒にスポーツをすることがウェアやグッズにお金をかける動機になっているかもしれません。一方、「通いたい」人は3,000～5,000円の回答比率が高く、スクールには通っていないけれども定期的にスポーツを実施しているようですね。

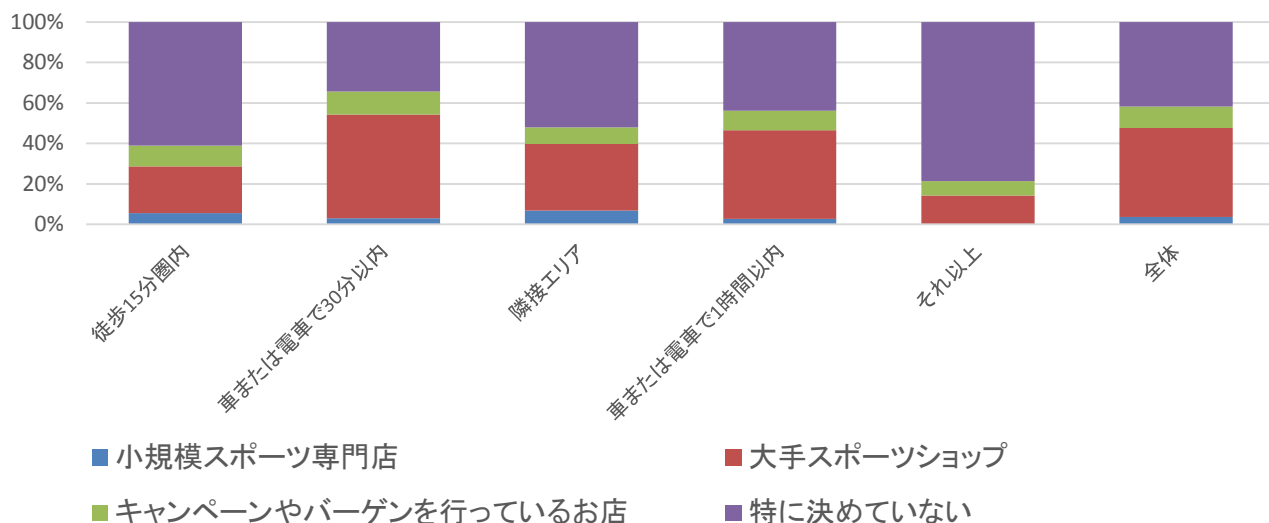
## Q6 今行っている・または興味のあるスポーツはなんですか？



女性は「ヨガ・加圧」「ジム・フィットネス」「水泳」の順となりました。男性は「野球」「ゴルフ」「ランニング」の順となっており、女性と男性で興味あるスポーツが異なることが浮き彫りとなりました。一方、「テニス」は男性・女性ともに4番目と同率に位置づけられています。

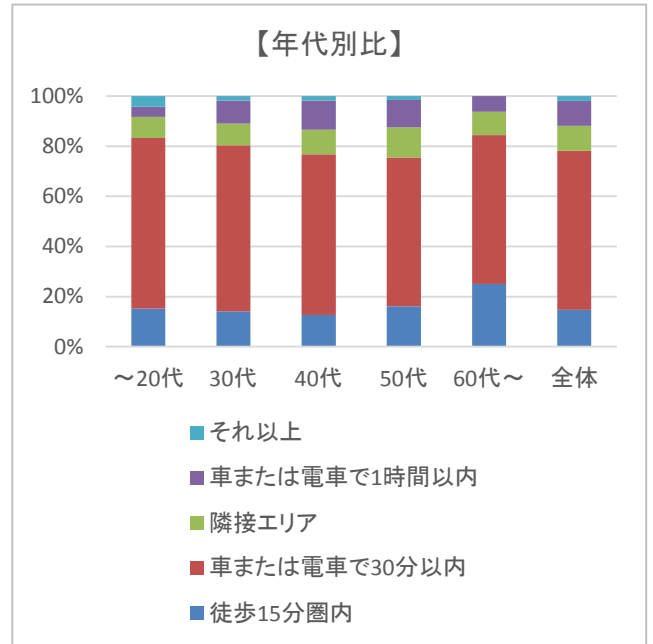
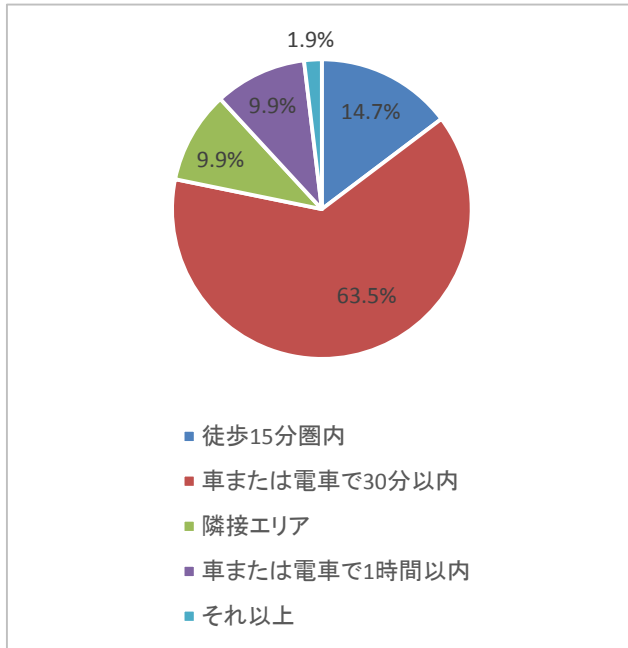
## Q7 スポーツ用のウェアやグッズなどはどこで購入しますか？

購入する店舗規模とエリア



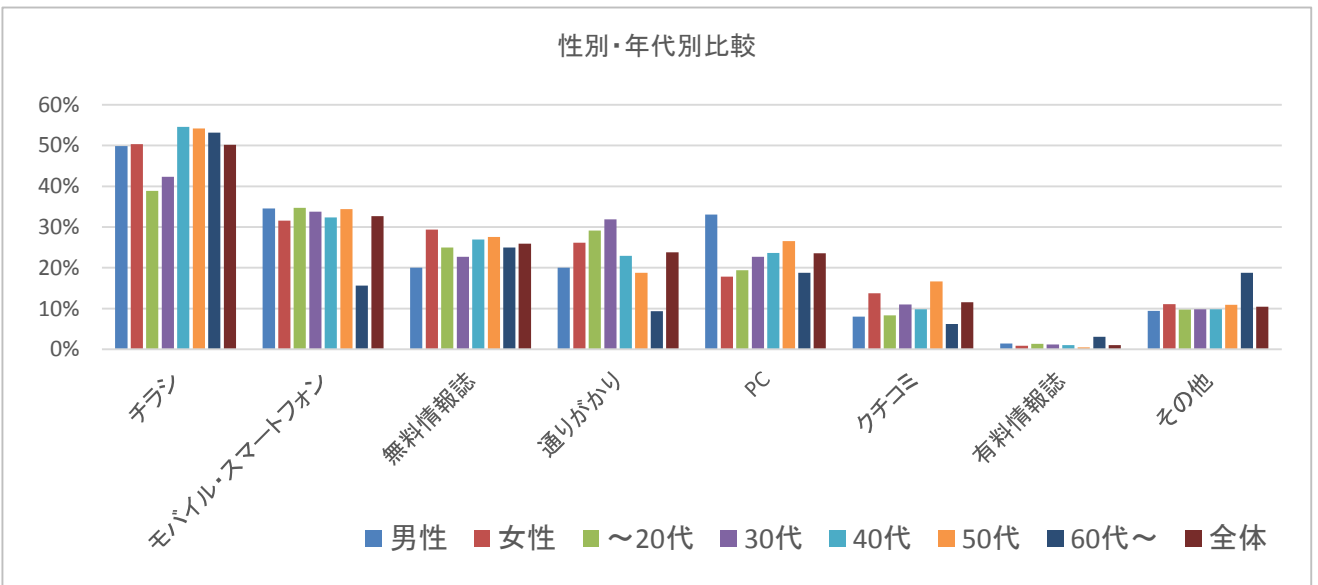
全体では「徒歩15分」「車または電車で30分以内」のお店で購入する8割に上ります。購入店舗別では「小規模スポーツ専門店」と回答した人は「徒歩15分」「車または電車で30分以内」「隣接エリア」と比較的行きやすいお店を選ぶ傾向がみられます。

## Q8 居住地からそのくらい範囲のスポーツ店に行きますか？



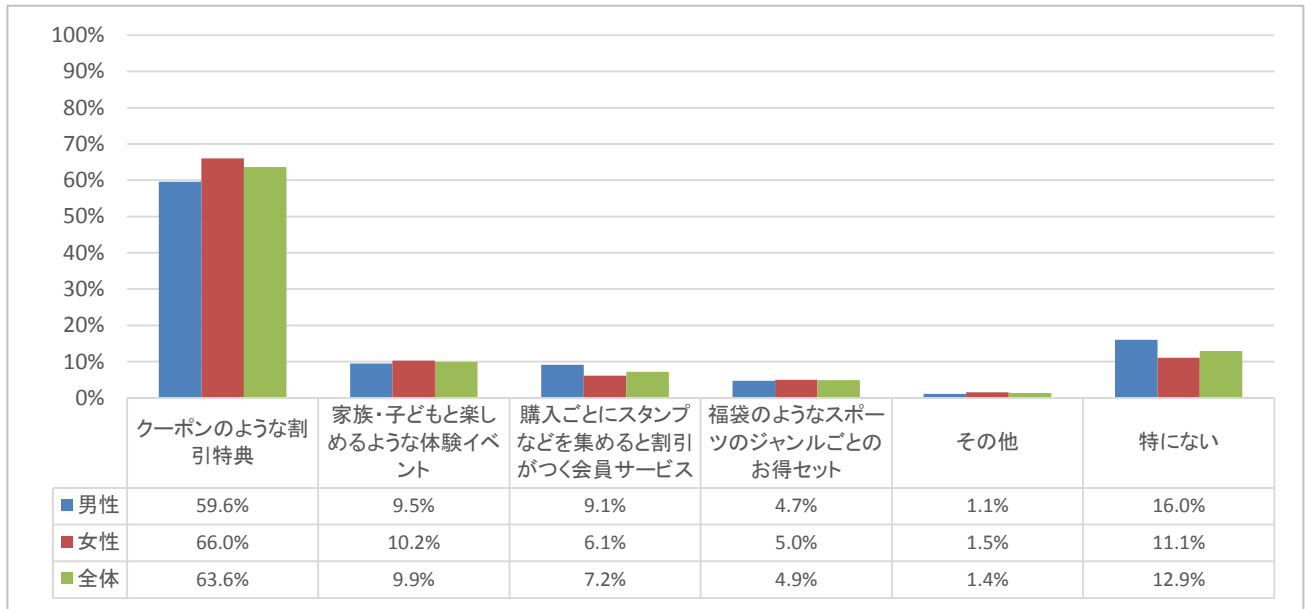
全体では「徒歩15分」「車または電車で30分以内」のお店で購入する8割に上ります。  
 年代別では、～20代や40代は「車または電車で1時間以上」が相対的に高く、遠くても行くようです。  
 一方、60代以上は「徒歩15分以内」が比較的多く、自宅の近くで購入する傾向がみられます。

## Q9 スポーツショップの情報はどこで入手しますか？



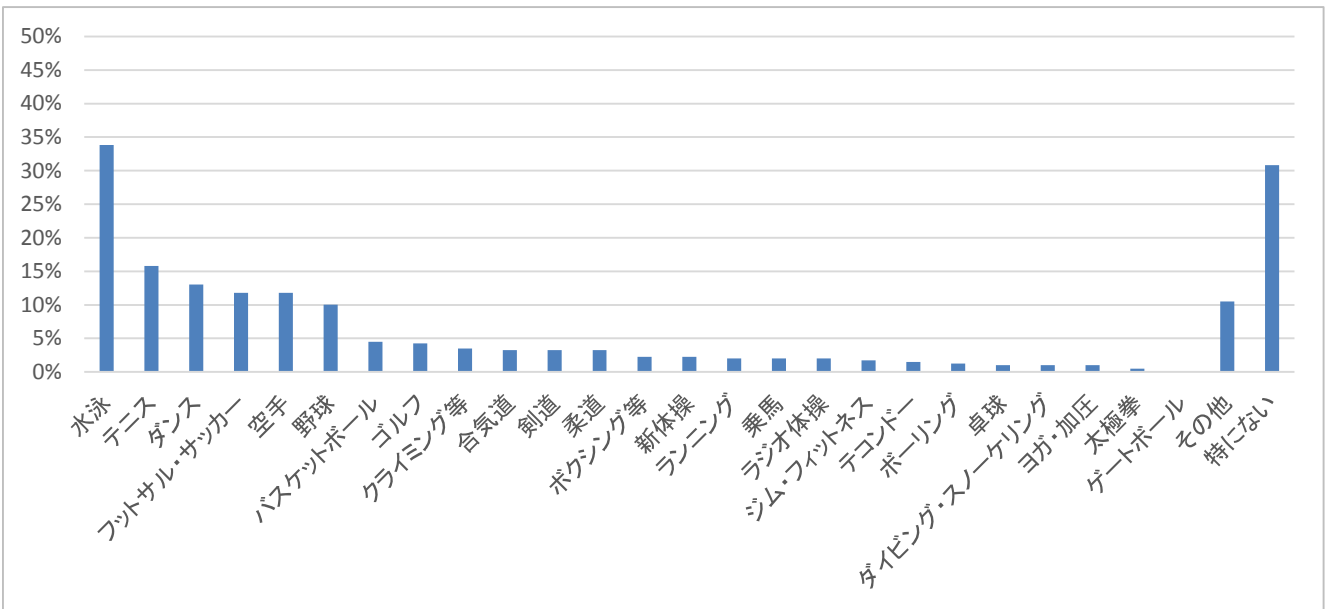
全体として情報入手先は「チラシ」が一番多く、次いで「モバイル・スマートフォン」が多い結果となりました。  
 男性は「PC」で情報収集を行う比率が相対的に高いようです。  
 年代別では、50代以下はやはり「モバイル・スマートフォン」を利用していることもわかります。40代以上は「チラシ」を参考に行っている傾向がみられます。また、20・30代は「通りがかり」、50代は「PC」「クチコミ」により情報を入手している比率が相対的に高いです。

## Q10 スポーツショップで、あると嬉しいサービスは何ですか？



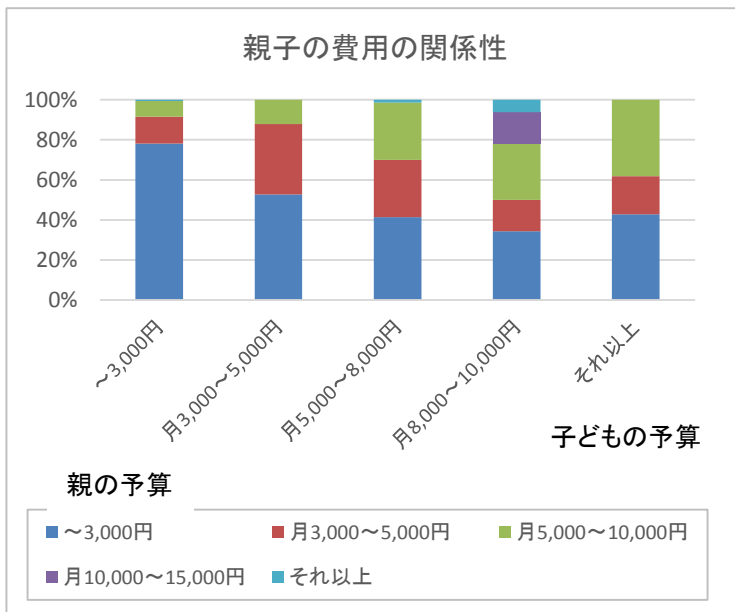
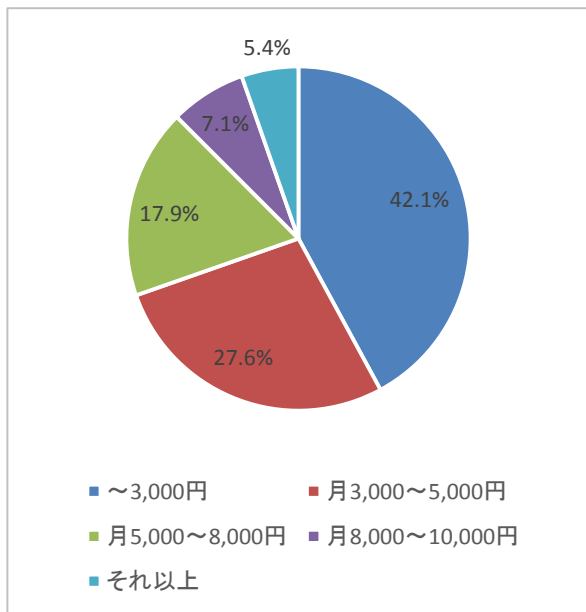
「クーポンのような割引特典」が6割以上という結果になりました。

## Q11 お子さまが習っている・もしくは習わせたいスポーツは？



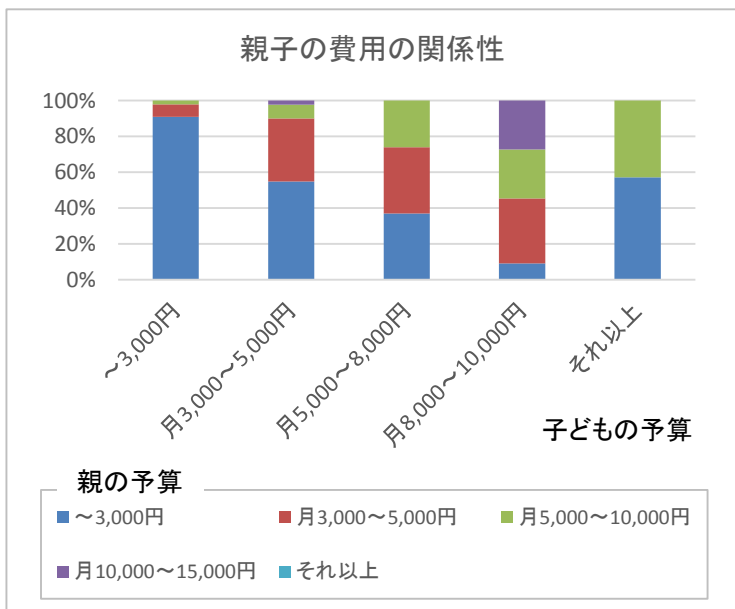
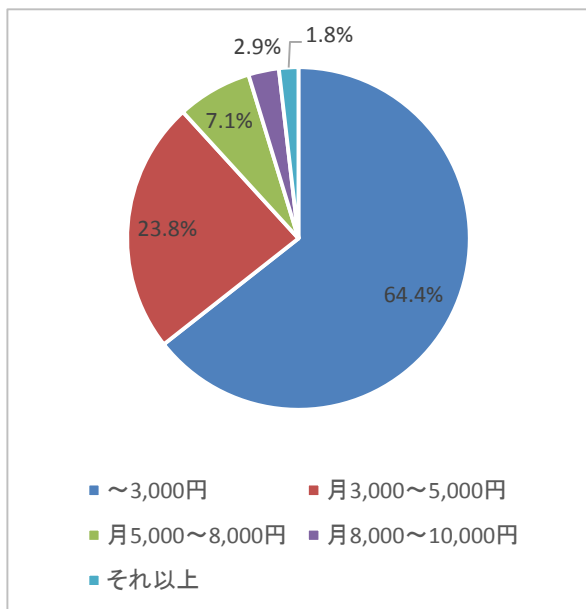
「水泳」が最も高く、次いで「テニス」「ダンス」「フットサル・サッカー」という順になりました。「空手」「合気道」「剣道」などの武道も人気が高いようです。話題の「クライミング・ボルダリング」を習っている・習わせたいという意向もみられました。

## Q12 お子さまのスポーツの習い事にかかる1か月の費用は？



お子さまのスポーツの習い事にかかる平均予算は、「3,000円以下」が約4割、次いで「3,000～5,000円」が28%という結果になりました。やはり子どもの習い事に対する予算は親が自分自身にかかる予算よりも相対的に高いようですね。

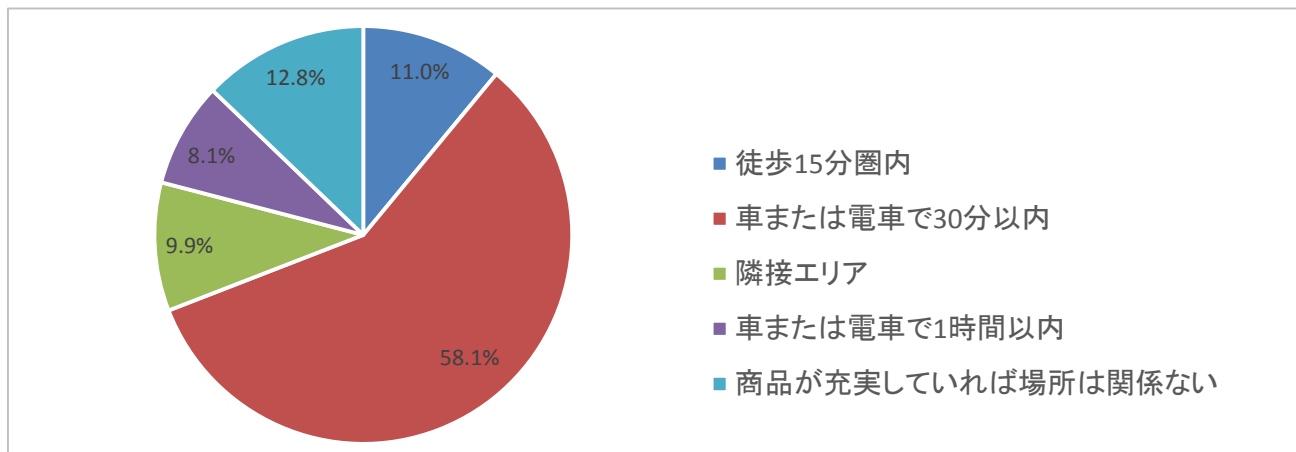
## Q13 お子さまのスポーツウェアやグッズなどにかかる1か月の平均予算は？



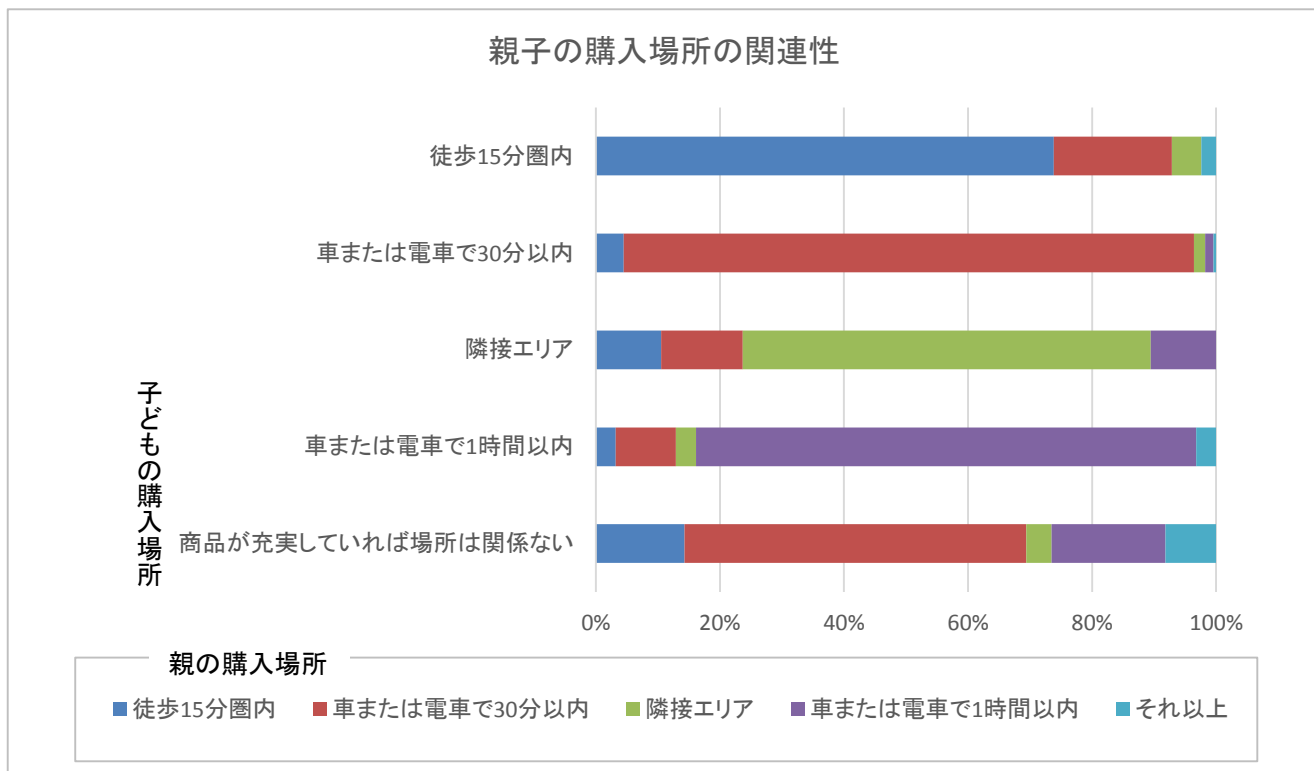
お子さまのスポーツウェアやグッズにかかる平均予算は、「3,000円以下」が64%という結果になりました。習い事と同じくウェアやグッズに関しても、子どもにかかる予算は親自身よりも高い傾向がみられます。



## Q14 お子さまのスポーツウェアやグッズなどはどこで購入しますか？



「車や電車で30分以内」との回答が大半を占めます。  
一方、「商品が充実していれば場所は関係ない」の回答も1割以上となっています。



親の購入場所で子どもも購入しているという回答が相対的に多く、親子が一緒に同じ場所で購入している状況が推察されます。

一方、子どもに対しては「商品が充実していれば場所は関係ない」と回答した親は「徒歩15分圏内」「車または電車で30分以内」で購入するが約7割を占め、親自身には時間をかけないというケースもみられます。

## 【調査概要】

調査概要: 日本のまんなか意識調査 スポーツについてのアンケート

調査方法: フリモリサーチ

調査時期: 2015年10月3日～10月4日

有効回答数: 10～70代 男性275人 女性459人 合計734人

回答者属性

	～9歳	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～	合計
男性	0	0	2	3	7	13	37	42	52	62	36	14	6	1	275
女性	0	0	2	20	38	47	66	85	96	75	19	7	3	1	459
合計	0	0	4	23	45	60	103	127	148	137	55	21	9	2	734

## 職業

会社員43.73%、パート・アルバイト23.71%、主婦13.62%、公務員5.31%、無職4.90%、自営業2.04%

学生1.91%、会社経営者1.09%、その他3.68%

## 居住地

愛知県43.19%、岐阜県22.75%、三重県21.66%、滋賀県7.22%、鳥取県3.27%、福井県0.41%、その他1.50%

## 【共同調査】

岐阜大学地域科学部 教授 三井 栄

専門: 計量経済学: 景気分析、数理ファイナンス、経済シミュレーション

『中部を創る～20人の英知が未来をデザイン～』中日新聞社(2010)「東海北陸自動車道全通による地域経済への影響—企業の意識構造分析」地域学研究(2011)

## 【フリモリサーチについて】

「フリモリサーチ」とは株式会社中広が運営するモバイルサイト「フリモ®」の会員に対しアンケート調査を実施するアンケート組織です。アンケート結果をサービス改善や資料作成に役立てています。

## 【フリモ®について】

「フリモ®」とは株式会社中広が運営する携帯ポータルサイトです。中部圏を中心に発行している各戸配布の生活情報誌と連動し、飲食店、ヘアサロン、整体、スクール、ハウジングなど、様々なジャンルが掲載されています。現在約13県140市町村郡の情報を掲載しており、掲載店舗・掲載エリアを拡大しております。

<http://sp.furimo.jp/>

## 【株式会社 中広について】

株式会社中広は岐阜に本社を置く広告会社です。当社は、東京・愛知・岐阜・三重・滋賀・福井・群馬・埼玉・鳥取の1都8県下でメディア事業及び広告セールスプロモーション事業を展開しております。1978年の設立以来、多くの方々に支えられ、2007年セントレックスに上場、2012年に名証2部に上場、2014年には東証2部に上場致しました。

メディア事業においては、地域に根ざした生活情報を収集・編集して地域みっちゃく生活情報誌®を愛知・岐阜・三重・滋賀・福井・群馬・鳥取・埼玉の8県で55誌328万部を発行(VC含め90誌526万部)、無料で各家庭に配布しております。また、イベントセミナー事業(講演会・研修会・イベント)・クロスメディア事業(フリモ・通販・PR)を実施しております。

広告SP事業においては広告戦略・広告計画・販売促進計画を立案する総合広告会社として、スポンサーの要望に応える媒体選択、デザイン提案、販売促進策の企画運営を行っております。

<http://www.chuco.co.jp/>

株式会社 中広

本社: 岐阜県岐阜市東興町27番地

TEL: 058-247-2511(代)

創業: 昭和53年5月1日

資本金: 4億430万円

代表取締役社長: 後藤一俊